

わかやま2018年を振り返って

今年もいろいろなことがありました

1月

1/19 **三重県との2県合同による産業廃棄物運搬車両に対する路上検査**
産業廃棄物の不法投棄不適切処理の未然防止のため、三重県と合同で路上検査を実施

2月

2/14・16・20 **「和歌山県就活サイクルプロジェクト」合同企業説明会**
結婚や出産などで離職した女性、定年退職された方、Uターン転職希望者等を対象に、再就職および企業の人材確保を支援するため、合同企業説明会を開催

3月

2/24 **和田勇シンポジウム「東京にオリンピックを呼んだ男」**
明治大学において、1964年の東京オリンピック実現に向けて各国に協力を要請し、開催に大きく貢献した和田勇を顕彰するシンポジウムを開催

3月

3/30 **一般国道42号串本太地道路新規事業化決定！**
国土交通省が一般国道42号串本太地道路の新規事業化を発表

4月

3/31 **ロボカップジュニア・ジャパンオープン2018和歌山大会**
世界最大の自律移動型ロボット競技会の日本大会(ジュニア部門)が和歌山市で初めて開催

7月

7/8 **県道白浜温泉線(フラワーライン線)全線開通**
才野ランプ～空港側が開通し、県道白浜温泉線(フラワーライン線)が全線供用

7月

7/23 **下請等中小企業者の取引条件改善に向けた連携協定締結式**
経済産業省と和歌山県との下請等中小企業者の取引条件改善に向け、全国で初となる連携協定を締結

7月

7/25 **南紀白浜空港民間活力導入実施契約の締結**
県と株式会社南紀白浜エアポートは、南紀白浜空港の地域経済発展への寄与を目的に、新たな空港運営をめざすための契約を締結

8月

8/4 **第27回和歌山県消防操法大会**
消防団員の士気の高揚と消防技術の向上を図るため、県消防学校において大会初となる実放水により競技を実施

8月

8/26~29 **第5回東アジア農業遺産学会**
日本、中国、韓国の研究者や認定地域の関係者で構成され、農業遺産に関する研究や地域の取り組みについて情報交換を実施。本県での開催を活用し、「みなべ・田辺の梅システム」をPR

4月

4/1 **国の統計データ活用センター開所**
総務省統計局と独立行政法人統計センターが所管する「統計データ活用センター」が開所。併せて県のデータ活用推進やそれを支えるデータ活用人材の育成の拠点として設置する「和歌山県データ活用推進センター」が開所

4月

4/15 **和歌山県庁舎80周年記念見学会**
県庁舎建設80周年を記念し、かつての竣工式と同じ日に正庁・知事室・議場などの見学会を開催

5月

5/24 **日本遺産認定「百世の安堵」津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産**
江戸時代、津波に襲われた広川町の人々が復興を果たし、日本の防災文化の縮図を浮かび上がらせたことが評価され、「防災遺産」をテーマとしたストーリーとして、全国で初めて日本遺産に認定

5月

5/29 **「和歌山県防災ナビ」アプリの提供**
南海トラフ地震などの大規模災害時の確かな避難を促進するため、防災ポータルアプリ「和歌山県防災ナビ」の配信を開始

6月

6/15 **住宅宿泊事業法および和歌山県住宅宿泊事業法施行条例の施行**
適正な民泊の運営確保のため、住宅宿泊事業法に併せて、県独自のルールを定めた条例を策定、施行

9月

9/3 **南紀白浜空港開港50周年記念航空ショー**
4月1日に開港50周年を迎えたことを祝賀し、これまでの空港利用への感謝と更なる認知度向上のため、ブルーインパルスによる航空ショーを開催

9月

9/24 **ラグビー15人制男子日本代表候補が合宿**
上富田スポーツセンターで4日間にわたり合宿を実施

10月

10/4 **宝塚医療大学和歌山保健医療学部(仮称)設置にかかる協定締結**
リハビリテーションの人材を育成する「和歌山保健医療学部(仮称)」の2020年度設置に向け、平成医療学園と連携協力するための協定を締結

10月

10/8 **和歌山県とベトナム商工省が覚書(MOU)締結**
さまざまな産業分野において相互の企業間交流や貿易振興を促進させる覚書(MOU)を締結。全国の地方自治体で初

11月

11/1 **「世界津波の日」2018高校生サミット in 和歌山**
地震津波などの災害から生命・身体などを守る将来のリーダーを育成するため、日本を含む世界48か国の高校生が参加し、「世界津波の日」2018高校生サミット in 和歌山を開催

12月

12/15 **豪州向け日本柿初輸出**
JAGグループ和歌山、JETRO、和歌山県の連携により全国で初となる豪州へ柿を輸出し、現地プロモーションを実施